

## 産地パワーアップ事業評価書

都道府県名	事業実施 地区数 ア	評価対象 外地区数 イ	評価対象 地区数 ア-イ	成果目標の平均達成率	評価対象 地区数のうち、都道府 県が地域 協議会へ 改善指導を 必要とした 地区数	地方農政 局等から都 道府県計 画の改善 指導の必 要の有無	【参考】 評価対象 地区数のうち、達成率 80%未満の 地区数	都道府県による総合所見	地方農政局等による総合所見
大分県	26	6	20	429%	6	無	6	<p>評価対象20地区のうち、7地区(水稲、飼料用米、トマト、スイートピー他)で達成率が100%を下回った。 要因としては、天候不順や価格低迷等があり、生産コストの削減及び販売額の増加の目標を達成することができなかった。 今後は、関係機関と連携し、経費削減の経営指導、栽培管理の営農指導等を行い、コスト削減、収量及び品質の向上を図る。</p>	<p>県の成果目標平均達成率は、国が達成と判断する90%に対し、429%であり、目標は達成されている。 このため、農政局から県への改善指導は行わない。 なお、大分県が事業実施主体への改善指導を必要とした地区(達成率90%未満)は以下の6地区である。</p> <p>&lt;参考:成果目標未達成地区の概要&gt;</p> <p>【水稲】2地区 -「集出荷コストの10%以上の削減」を目標に乾燥調製施設の機能向上を行った1地区について、低温・長雨の影響により登熟不良が発生し、集荷量が計画を下回ったこと等により、単位数量当たり固定費の削減が出来ず、成果目標は未達成となった。 また、「販売額の10%以上の向上」を目標に乾燥調製施設の機能向上を行った1地区について、光選別機や食味計の導入により玄米品質は向上したが、販売単価の向上に反映出来ず、成果目標は未達成となった。</p> <p>【飼料用米】2地区 -「生産コストの10%以上の削減」を目標にトラクター等のリース導入を行った2地区について、日照不足の影響により登熟不良が発生し、単収が計画を下回ったこと、作付面積の拡大が計画を下回ったことにより、単位数量当たり生産費の削減が出来なかったことから、成果目標は未達成となった。</p> <p>【野菜】1地区 -「販売金額の10%以上の増加」を目標に、トマトの低コスト耐候性ハウスの整備を行った1地区について、産地の中でも特に作付面積が大きい取組主体においてコナジラミが媒介するウイルス病が発生し収量が減少したことにより、成果目標は未達成となった。</p> <p>【花き】1地区 -「販売金額の10%以上の増加」を目標に、スイートピー他の低コスト耐候性ハウス、選別調製施設、保冷库を導入した1地区について、主要品目であるスイートピーについて、12月中下旬～1月上旬にかけて曇天による日照不足により、花落ちが発生し、出荷量が減少したことや、2月に需給バランスの不均衡が生じ、市場単価が下落したことなどから、成果目標は未達成となった。</p>